



心配ごと(弁護士)相談所開設について



相手が親権を主張して
離婚協議が進まない。

納得のいかない理由で
懲戒解雇されてしまった。

事故の相手が任意保険に
入っていない賠償金など
の交渉ができない。



家主さんから一方的に
契約を解除すると言われて、
立ち退きを迫られている。

開設日時：令和3年11月2日(火) 午前9時30分～11時30分

開設場所：湯浅町地域福祉センター

- ・当相談所の規定に基づき秘密は厳守します。また、相談費用は無料です。
- ・事前予約は10月4日(月)からの受付となります。
- ・弁護士相談は午後1時からとなります。弁護士への相談は10件までの受付となります。
- ・尚、弁護士相談を希望される方は、必ず心配ごと相談(午前中)に一度お越し頂き相談内容を取りまとめる必要がありますので予めご了承ください。
- ・お申し込み・お問い合わせは湯浅町社会福祉協議会までお願いします。
- ・今回の相談では、役場主催の「人権相談」と合同で開催致します。



令和3年度10月・11月の予定



10月	5日	(火)	心配ごと(公証人)相談(地域福祉センター)
	13日	(水)	あいうえおサロン(地域福祉センター)
	22日	(金)	老人大学(総合センター)
	24日	(日)	しらゆりキッチン(地域福祉センター)
11月	2日	(火)	心配ごと(弁護士)相談(地域福祉センター)
	10日	(水)	あいうえおサロン(地域福祉センター)
	26日	(金)	老人大学(総合センター)
	28日	(日)	しらゆりキッチン(地域福祉センター)

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、上記予定が中止になる事があります。

各種お問合せ先…湯浅町社会福祉協議会までお願いします！

電話：63-5175 FAX：63-3304 メール：yuasashakyo-361@violin.ocn.ne.jp



社協だより

編集・発行／社会福祉法人 湯浅町社会福祉協議会

〒643-0004 和歌山県有田郡湯浅町湯浅 1675-1 湯浅町地域福祉センター内

TEL：0737-63-5175 FAX：0737-63-3304 WEB：http://www.yuasa-shakyo.or.jp/



facebook



2021
10
vol.166



大好きな おじいちゃん・おばあちゃん…心からありがとう

ことし ちょうない しょうちゅうがくせい かたがた たいしょう こうれいしや
今年も町内の小中学生の方々を対象に、「高齢者と
のふれあいや交流」をテーマとした作文を募集した
ところ、598点の作品が寄せられました。
今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で
「湯浅町敬老会」が中止となり、高齢者のみなさん
の前で作文の朗読をすることが叶いませんでしたが、
特選のみなさんと心とむ作品の一部をご紹介します。

なまえ がっこう がくねん ひょうしょう さくぶん
①名前 ②学校・学年 ③表彰 ④作文タイトル

いつまでも
げんき
元気でいてね



①宮下 航希
たむらしょうがっこう ねん
②田村小学校1年
ろうじんだいがくちゅうしゅう
③老人大学長賞
④「ぼくのおじいちゃんとおばあちゃん」

こころ あたた
心を温める
ことができる
えがお
笑顔がステキ!



①小幡 朱莉
ゆあさしょうがっこう ねん
②湯浅小学校6年
きょういん
③教育長賞
④「お年よりにしか出来ないこと」

おばあちゃんと
わたし
私をつなぐ
たいせつ
大切な時間



①湯川 真帆
ゆあさちゅうがっこう ねん
②湯浅中学校1年
しゃきやうかいちゅうしゅう
③社協会長賞
じゅうごふん か
④「十五分の架け橋」

これから
いもうと
妹たちと
あそ
遊びにいくね



①加藤 早織
ゆあさしょうがっこう ねん
②湯浅小学校2年
しゃきやうかいちゅうしゅう
③社協会長賞
④「けんこうで長生きしてね」

あいさつで
みんなを
げんき えがお
元気で笑顔に!



①小路 瑠愛
ゆあさしょうがっこう ねん
②湯浅小学校3年
ろうじん かいしゅうしゅう
③老人クラブ会長賞
ついたち あさ
④「一日の朝」

おとしよりの
ちから
力になりたい!



①中井 伊織
ゆあさしょうがっこう ねん
②湯浅小学校4年
ちやうしゅうしゅう
③町長賞
④「ぼくの町のおじいちゃんとおばあちゃん」

ぼく
僕の3つの
マイルール!



①坂田 錬汰朗
ゆあさしょうがっこう ねん
②湯浅小学校5年
しゃきやうかいちゅうしゅう
③議会議長賞
ひと ひと
④「人と人とのつながり」

ひと
人としての
さいこう せんぱい
最高の先輩は
おじいちゃん



①妹尾 爽加
ゆあさちゅうがっこう ねん
②湯浅中学校2年
こうみんかんちゅうしゅう
③公民館長賞
じんせい だいせんぱい
④「人生の大先輩」

かんりえいようし
管理栄養士になって
おんがえ
恩返ししたい



①白水 佑奈
ゆあさちゅうがっこう ねん
②湯浅中学校3年
しゃきやうかいちゅうしゅう
③社協会長賞
えがお
④「笑顔のボタン」

令和3年度 老人福祉作文「準特選」入賞者

学校名	学年	氏 名	学校名	学年	氏 名	学校名	学年	氏 名
湯浅小	1年	吉川 叶真	田村小	4年	炭原 綺斗	湯浅中	1年	宮井 紗良
湯浅小	1年	奥山 碧海	湯浅小	4年	田中 大翔	湯浅中	1年	田中 杏実
湯浅小	2年	谷野 由珠	湯浅小	5年	龍 鉄仁	湯浅中	2年	岡本 夏歩
田栖川	2年	石田 心路	湯浅小	5年	神野 優夢	湯浅中	2年	奥村 杏美
湯浅小	3年	西原 愛依	田村小	6年	大浦 叶夢	湯浅中	3年	志邊 菜々美
湯浅小	3年	鈴木 智絵	湯浅小	6年	中尾 和奏	湯浅中	3年	六川 夏未

令和3年度 老人福祉作文「審査員」

千福 啓資	野下 康雄	下向 田持	中岡 徹	阿部 真二
垣内 淳	増元 貞夫	見矢 義夫	生田 俊示	

【老人クラブ会長賞】

「1日の朝」

湯浅小学校 三年 小路 瑠愛

「ピーピーピー。」
毎月一日の朝、七時前にけいトラのバックの音が聞こえたら、
「おじいちゃん来た。」
と言いながら、
「おはよう。」
とげんかんに向かいます。
おじいちゃんはゆあさけいさつしよ少年ほどういんをしています。ゆあさのほどういんさん五人で、毎月一日にあいさつ運動をしています。学校に行く途中に、朝のみまもりをしてくれています。
「おはよう。パンほしい人。」
「ほし、ほし。何あるん？」
とわたしは聞きに行きます。

おじいちゃんはいつも来るとき、わたしのすきそうなパンを買ってきてくれます。一こはぜったいやきそばパンがあつて、お姉ちゃんと妹でとりあいになります。おいしいパンを買ってきてくれるので楽しみです。おじいちゃんが来てくれて、お話をしながら朝ごはんを食べるのが一番楽しいです。
七時二十分ぐらいにおじいちゃんがさきに家を出発します。わたしはじゅんぴをしてから、学校に向かいます。

一日は、おじいちゃんがあいさつ運動に立ってくれているから、いつもとちがう気持ちになります。
「安心・安ぜんだな。」いつもあいさつでみんなを元気とえがおにしてくれるな。」とわたしは思っています。だから、おじいちゃんがいるときはとくべつうれしい気持ちで学校に行きます。

おじいちゃんは、ちゅう車場の所に立っていて、
「道がせまくなつていて、車がたぐさん通るからあぶないな。」
とよく言っています。

「気をつけて行ってらっしゃい。」
とおじいちゃんやほどういんさんは言ってくれるから、安心して通ることができます。

「心ばいしてくれて、ありがとう。」
という気持ちで通っています。

これからもおじいちゃんにいろんな人にあいさつして、みんなを元気とえ

作文入選作品紹介

令和3年度 老人福祉

マイルール

- ①笑顔で接して、楽しい気持ちになつてもらう。
- ②大きな声でゆつくり話す。
- ③はずかしがらず積極的に接する。

【社協会長賞】

「十五分の架け橋」

湯浅中学校 一年 湯川 真帆

「ああ、やつちゃった。」
と、思つときにはもう手おくれでした。
私には、おばあちゃんしかいません。おじいちゃんもみんな亡くなつています。でも、おばあちゃんはそんなことを感じさせないくらい私を大切にしてくれています。

だけど、そんなおばあちゃんは今認知症です。しかも、年々ひどくなつていきます。なかでも「物忘れ」が一番重いです。一度言つたことを十分、十五分後くらいにはもう一度聞いてきます。それが何回も続くのです。

そんなある日、つとつがまんがでなくなつた私はつい言つてしまいました。
「何回もおんなじことばつかわんといつて。」

と。おばあちゃんをみると、とても悲しそうな顔をしていました。ああ、やつてしまった。あやまろうと思つても、変なプライドがじゃまをして、あやまることができませんでした。しかも、おばあちゃんは十五分後には忘れてしまします。それもありませんでした。その日は、一日中心に罪悪感が残っていました。

またある日、おばあちゃん家に行くとおばあちゃんの「物忘れ」が始まりました。

「またか。」と正直思いました。もう無理、言っちゃうといつときこの前のことが頭に浮かびました。罪悪感にあふれたあの日のことを。ただ一言「ごめんね。」つて言えなかつたあの日のことを。そんなことをくり返したくない。だから私は、

「そつだね。」

と返しました。すると、おばあちゃんはとっても良い笑顔でその後も話していました。

十五分後には、同じことを聞かれるけれど私にとってのその時間は、私とおばあちゃんの心を繋ぐことのできる小さな架け橋です。

がおにしてほしいです。わたしもおじいちゃんみたいに、友だちやちいきの人にあいさつして、みんなを元気とえがおにしたいです。

【議会議長賞】

「人と人のつながり」

湯浅小学校 五年 坂田 錬汰朗

以前、テレビでヤクルトレディーさんが一人ぐらしのお年よりによるこぼれているという特集を見ました。決まった曜日にヤクルトを家にとどけて、顔を合わせて直接話をするので、その方の顔色や様子でいつもと変わったことがないかを見たりしているそうです。そして、どけてもらつたお年よりもヤクルトレディーさんと話をするのを楽しみに待っているのだそうです。

ただ商品をとどけるだけではなくて、人と人の心やさしいつながりがあつて、とても感動しました。

ぼくはまだかいごや福祉についてのくわしいことは分かりませんが、何かできることがあればやりたいな、学べるものがあれば学びたいなと思つて、夏のボランティア体験学習に参加しました。

昼食の配食サービスについて行かせてもらいました。どけたお年よりに「えらいね。もつて来てくれてありがとう。」と言つてもらえました。いつもはいないぼく達もいっしょだったので、すごくうれしうに笑顔でむかえてくれました。最初は少しはすかしが少なかったけれど、何けんかまわるうちに、どの方も本当によこんでくれるのでみなさんが配食を待っているのではなくて、どこけに来てくれる人を待っていて、そこで話をするのを楽しみにしているんだな、テレビで見たヤクルトレディーさんと同じだなと思いました。それから「よう来てくれたよ。今日はれんたろうのおかげで本当ににぎやかになつて、さみしくなかつたよ。」となくなったひいおばあちゃんがよく言つてくれたことを思い出しました。

高れいになつて足こしが不自由になつたりすると、行動はんいがせまくなり、家に一人でいる時間が長くなるようです。だから家族が顔を見に行つてあげたり、デイサービスに行つたり、ヘルパーさんに家に来てもらつたりして、多くの人達と直接会つて交流することがすごく大事なんだなと実感しました。以前はかいごや福祉と聞くとむずかしく考えてしまつていましたが、特別なことをしなくても思いやりの気持ちを持つてお年よりの方々と接して交流していけば良いんだなと学びました。

今回のボランティアに参加して、三つのマイルールを作つてこれからそのルールを守つて町のお年よりの方々と接していこうと決めました。

【社協会長賞】

「笑顔のバトン」

湯浅中学校 三年 白水 佑奈

昨年の冬、私は体調をくずし少し大きな病院で入院しました。体調が回復するにつれ、リハビリ治療が始まりました。そこで出会つた、私に元氣と笑顔をくれた二人のおばあちゃんについてお話したいと思います。

一人目のおばあちゃんは、リハビリ室で私を見かけるといつも笑顔で話しかけてくれました。いろいろな話で盛り上がり、コロナウィルスで家族とほとんど面会できずにいた私の唯一の楽しみでした。辛いリハビリも、さびしい入院生活も、おばあちゃんとの出会いが私を支えてくれました。

二人目のおばあちゃんは、九十八歳の元氣あふれる方でした。車いすから、もう一度自分の足で歩くことを目指して、一生懸命リハビリを頑張っていました。おばあちゃんは、

「私もまだまだ楽しみがあるから頑張れる。でもあなたはこれからが人生だから、私よりもっと楽しみがある。だから、こんなところで負けたらだめだよ、頑張るんやで。」

と私に言ってくれました。力強いアドバイスは、私を元氣にしてくれました。名前も住んでいる場所も何もかも知らない人なのに、私のことをすごく大切にしてくれて、私にとって大きな支えでした。私は二人のことを何も知らないで恩返しができるません。でも少しでも恩返しがしたくて、他の方法はないか考えてみました。

以前から私の夢は管理栄養士として、患者さんに食を通し笑顔を届けることでした。私は実際に入院したことで、入院中の食事の大切さと管理栄養士の役割を実感しました。私が管理栄養士になることで直接的には二人に恩返しをすることはできなくても、たくさんの人に笑顔を届けることができると思います。

私は二人のおばあちゃんから、笑顔の大切さを学びました。笑顔は、自分も周りの人も幸せにしてくれる、すてきな魔法だと思います。

私は管理栄養士になつて、たくさん患者さんにすてきな魔法を届けたいです。私の将来の夢への思いを強くしてくれた二人のおばあちゃんのことには、一生忘れません。私がもらつたかけがえのない大切なものを次は私がつなげる番だと思います。おばあちゃんのためにも、私のためにも夢を必ず叶えます。



やすらぎ



今年も「やすらぎ劇団」の
余興でみんな大爆笑!?



「やすらぎ」では、9月16日(木)17日(金)18日(土)と敬老会を開催しました。職員の仮装や寸劇で、利用者さんの笑い声と笑顔であふれ楽しいお祝いの時間になりました。来年も、みなさんと楽しく過ごせるように、笑顔・おもてなしの心をもってお手伝いをさせていただきます。

敬老会

開催!



あかるい「やすらぎ」♪
色とりどりの
えがおの花
としをかさねて
うれしい人生



めでタイで
長寿の祝い



やすらぎ家族会



ほんま かずゆき し
本馬 和之 氏

令和3年9月9日（木）、認知症をテーマに

「やすらぎ家族会」を開催しました。

かぐのみ苑湯浅グループホーム

（認知症対応型共同生活介護事業所）管理者の

本馬氏をお招きして、認知症状が出ている方への

関わり方や入所されている方の日常生活の様子

など話を頂きました。



「認知症の方への関わりについて」
一部紹介します。

- 本人さんができる役割を持つことで、穏やかに過ごすことができます。
- 一緒に生活しているとつい家族は、怒ってしまいます。本人さんは不安でいっぱいということを理解しましょう。

当会では、介護している家族の方の交流の機会や介護に関する情報を提供できる場所作りとして開催しています。広報などで案内していますが、興味のある方は湯浅町社会福祉協議会までご連絡ください。

連絡先 | 0737-63-5175



ご長寿インタビュー・健康長寿の秘訣は？

当会介護サービス（ケアマネジャー、ホームヘルパー・デイサービス）を利用されているお二方に健康長寿の秘訣をお聞きました。

「なせばなる」の毎日でロボット犬のチロちゃんに励まされながら元気に過ごしています。



コツコツ頑張り屋の
田伏お千代さん(97歳)

昔やってた踊りが好きかな。今でもデイサービスで歌や音楽にあわせて踊るのが楽しみです。



いつもニコニコと笑顔の素敵な
山崎節子さん(95歳)

祝

みなさまの「ご長寿」を職員一同、心よりお祝い申し上げます。

ボランティアセンターだより

ともに考えよう未来のために

夏ボラ防災学習

夏休み期間中に開催した「夏のボランティア体験学習」で災害への意識を高めてもらうことを目的に、津波避難救命艇を見学しました。



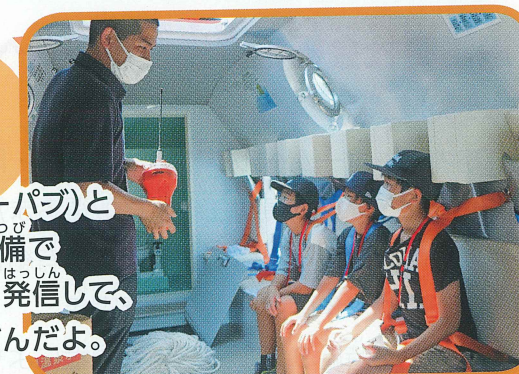
「Save Boat SONAE」って
いう愛称なんだね。



普段はカギがかかっています。どうやって
開けるのかな？



スペースは
ひつようさいしょうげん
必要最小限で
けっこう
結構せまいな。



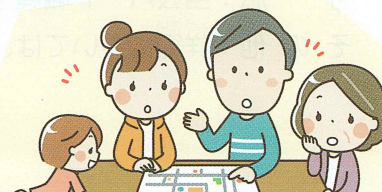
EPIRB（イーパブ）と
いう通信設備で
きゅうなんしんごう
救難信号を発信して、
助けを呼ぶんだよ。



天井の入口は、ヘリコプ
ターでの救助のときに
つか
使うためなんだね。



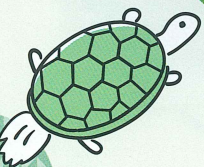
スロープでは車イス体験もしました。
坂道だから、ゆっくり慎重にこー！



津波救命艇は最後の砦です。
存在を頭の片隅におきながら
も、救命艇を使わなくても避
難できるように、日頃から避
難場所・避難経路の確認をし
ておきましょう！

津波救命艇（設置場所：湯浅町観光用駐車場）

アルミ合金製の定員25名の津波避難用シェルターで、浸水すると船のように浮かびます。津波のおそれがある場合は、高台へ逃げるのが鉄則ですが、どうしても高台への避難が困難な場合に備えての避難施設です。救命艇内には装備として、救難信号やトイレ、1週間分の食糧や飲料水などが備えられています。



急募 職員・パートさん

湯浅町社会福祉協議会臨時職員募集！

募集人員：1名
 業務内容：生活支援コーディネーター（介護予防事業担当）
 高齢者サロン（集いの場）の運営支援及び高齢者の生きがい支援など
 勤務形態：週5日（月曜～金曜・有給休暇あり）8：30～17：30
 雇用期間：1年間更新 60歳定年
 賃金：日給7,500円～
 加入保険：雇用・労災、健康、厚生
 諸手当：通勤手当（2km以上）
 寸志：当会職員寸志規程により年2回
 その他：詳細については、当会臨時職員就業規則による



湯浅町社会福祉協議会ホームヘルパー職員（パート）募集！

募集人員：若干名
 業務内容：ホームヘルプ事業（高齢者・障がい者の方々への訪問介護業務）
 業務内容：介護職員初任者研修取得者または介護福祉士
 勤務形態：週4～5日（シフト制・有給休暇あり）
 雇用期間：1年間更新 60歳定年
 賃金：時給900円（当会規程により昇級有）
 加入保険：雇用・労災
 諸手当：介護職手当・資格手当・ほほえみ手当（各3,000円）・通勤手当（2km以上）・祝日手当有
 寸志：当会パート職員寸志規程により年2回
 その他：詳細については、パート職員就業規則による



湯浅町老人体育祭 開催中止について

例年10月に開催している「湯浅町老人体育祭」につきまして、新型コロナウイルス感染症予防の観点から今年度の開催を中止させていただきます。
 みなさまにおかれましては、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。



老人大学は町内の60歳以上の方を対象に毎月1回楽しく活動しています。
 みなさんも私たちと一緒に生きがいを見つけてみませんか。

短歌教室のみなさんの作品をご紹介します。

題詠 『白』

人生の余白のごとき残り世にコロナ感染収束見えず
 甲子園泥にまみれて球児達観客なくも白球を追う
 長芋と烏賊の刺身の二本立今宵五輪の野球観戦
 水張田に映る白雲揺らしつつ蛇が一匹泳いで行きぬ
 凡き実のオクラの苗を求めしが白き色なり湯がけば緑
 太陽の沈まない夏北欧の白夜を観たくネットに探す
 萩咲けり真白き花に甦る想いこもごも寺の庭さき
 名物の大観声なき甲子園に球児ひたすら白球を追う
 白波たて漁船次々荷揚げ場に本日曇天取れ高たしか
 長雨とコロナバリアの甲子園若き闘魂白球に込め
 嫁の手で洗濯されし通学シャツ七枚限りなく白く干さる

詠草

満月の海に舞う雪さながらに千のサンゴの散卵神秘
 チャンネルを次つぎ替えて見る試合オリンピックは熱戦つづき
 自生する風船かつら摘みて来て部屋に活ければ風の生まるる
 弾けつつ口から飛び出すパピポ半濁音は湿りをもちたず
 メロンには嗜好がないかアライグマ完熟待ちて獲れる喜び
 夏なれば冷たき茶粥すすりたし海外赴任の亡弟言いき
 軒の下備長炭のふうりんよ澄みし音色は心にしみて
 祖父祖母とちちは弟いもうとと暮らし日々を思ふ八月
 もう少しトーンあげてレジの人耳近づけて「え！」と聞きかえず
 早苗より成長見続け米の花頭をたれる稲穂たわわに
 院内に困りいし時影のごとわがそばに立ちくれし人あり

- | | | | | | | | | | | |
|-------|------|-----|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|
| 山田千代子 | 市間圭子 | 兵野勉 | 上山久雄 | 池田美佐子 | 大西真千子 | 竹島通支子 | 脇中佐智子 | 北野恵子 | 平松恵見子 | 岩寄弥生 |
|-------|------|-----|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|